

(様式4)

令和6年度大泉町立北小学校英語科特例校の実施状況について

大泉町立北小学校

1 英語科特例校の内容

小学校1・2年生において、「外国語活動」を実施する。

近年、国際化・グローバル化が進んでおり、今後その流れはますます大きくなることが予想される。令和2年度からの新学習指導要領では、3・4年生で「外国語活動」、5・6年生で「外国語科」が新設され、外国語教育の一層の充実を図ることとなっている。そこで、大泉町内の全ての小学校において、特別の教育課程を実施し、早期から英語の学習を始めて英語教育の充実を目指していく。

2 児童アンケートの結果

<質問項目>

①「外国語活動」の時間は、楽しいですか？	98%
②「外国語活動」の時間は、先生や友達とすすんで英語で話していますか？	95%
③英語であいさつをしたり、英語で言ったり、答えたりすることができますか？	95%

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・英語で動物の名前を言えるようになって嬉しい。
- ・自分から英語であいさつを言えるようになった。
- ・好きな人(家族)の名前を英語で言えるように頑張った。
- ・英語で色々な言葉を話すと、すごく元気が出て楽しかった。

3 保護者アンケートの結果

<質問項目>

①小学校1年生から、英語の授業を実施することは、英語への関心を高めることに役立っていると思いますか？	98%
②お子さんは、英語の授業を楽しみにしていると思いますか？	97%
③お子さんは、英語であいさつをしたり、英語で言ったり、答えたりすることができますか？	85%

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・英語の授業があった日は、家で習った言葉を話したり、歌を歌ったりしている。楽しみながらできているのが良いと思う。
- ・英語は大事な言語であると思うので、低学年から英語に触れる機会があるのはとても良いと思う。
- ・ALTの先生がいるおかげで、ネイティブの方の発音を聞けるので、とてもありがたい。
- ・発音も良くなり、耳から覚えることで実際の会話に繋がる事が嬉しく思う。
- ・英語に興味を示している。授業の他にも、任意参加の課外レッスンがあればいいと思う。

4 教職員アンケートの結果

<質問項目>

①小学校1年生から、英語の授業を実施することは、英語への関心を高めることに役立っていると思いますか？	100%
②児童は、英語の授業を楽しみにしていると思いますか？	100%
③児童は、英語であいさつをしたり、英語で簡単な質問に答えたりすることができますか？	100%

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・みんな、英語の時間をとても楽しみにしている様子が見られる。
- ・子ども達は英語が大好きで、いつも楽しみにしている。ALTの他に、英語が堪能なJTE(日本人英語担当講師)の先生がいて、大変助かっている。
- ・毎時間、JTEの先生が工夫を凝らして授業を考えてくれて、とてもありがたい。おかげで、楽しい活動ができる。

5 成果と課題

<成果>

- ・歌やリズム遊び、ゲームなどの活動を取り入れることで、児童の興味、関心を高めながら楽しく活動することができている。
- ・低学年では、「話す・聞く」のやり取りを中心にするすることで、英語のリズムやイントネーションを体で感じて慣れ親しむことができている。
- ・低学年からネイティブのALTに関わったり、外国語にたくさん触れたりすることは、多文化や異文化を理解することにつながっている。

<課題>

- ・学校でどんな授業をしているのか知りたいと感じる保護者が一定数いる。しかし、学校で外国語活動の授業を公開する機会が少なく、保護者はよくわからないと感じている様子が見られる。授業参観で積極的に外国語活動の授業を公開し、実際に様子を見てもらう必要がある。
- ・英語に触れる機会を、授業以外にもっと増やしてほしいと思っている保護者が一定数いる。歌やリズム遊びだけでなく、聞き馴染みのある英語を実際に使えて嬉しいという実感をもたせたい。そのために、休み時間の任意の課外レッスンや学校全体であいさつ程度の英語を話す機会などを検討していくことが必要である。

6 学校関係者(学校評議員)の評価結果

- ・どの子も楽しそうに参加している様子が見られた。英語を好きになるきっかけとして、歌やゲームはとても良いと思う。
- ・英語の発音が良くて聞きやすく、低学年からの学習で意欲が高まっていると感じる。
- ・子ども達が生き生きと、親しみを持ちながら活動している姿に感心した。活動の様子を町のホームページにも掲載することで、多くの町民に知ってもらえるのもよいのではないかと。